

シニアこそiPadとSNSは使わないと損！

月一度、福岡のアップルストアで無料のiPad教室を開催している藤澤さんは、「シニアこそSNSを活用する価値があります」と断言する。藤澤さんのiPad教室には多くのシニア世代が受講しているが、1時間の受講時間では足りず、近所のカフェで参加者が藤澤さんを囲んでの「補習」が開かれている。

この日、「補習」に参加していた60代の女性は、退職後に情報に疎くなることを危惧し、世の中の動きを知る道具としてiPadを購入したという。「Facebookも去年から始めています」といい、海外留学している子どもとのやりとりのほか、「Facebookの友達が100人を超えました。実際に会ったことがある人だけでなく、Facebookではじめて知り合った友達が増えてきています」と微笑む。

もうすぐ80歳になるという女性は、iPadで撮った写真をLINEで子どもに送っているという。『『元気だよ』という意味で毎日子どもに送っています。LINEは無料なのがいいですね』と目を輝かせ、「使わないと損ですよ！」とも教えてくれた。

SNSとiPadを通じて 自分も周囲も楽しくしている

藤澤さんは、上級者の集まり「iClub福岡」の副代表も務めており、メンバーの方にお話を伺った。グループの代表の工藤洋輔さんは、Facebookを通じて地元のテレビに出演したのをきっかけに頻繁に取材されるようになり、高校生向けのiPhoneとiPadの講演も行ったという。

メンバーの「野菜おじさん」こと赤木信義さんは専業農家だが、Facebookで収穫祭などの告知を行っているそう。主婦の宮本さんは、今年、夫の転勤で長崎から福岡



iPad教室の「補習」の様子。たくさんの方々が参加していた。

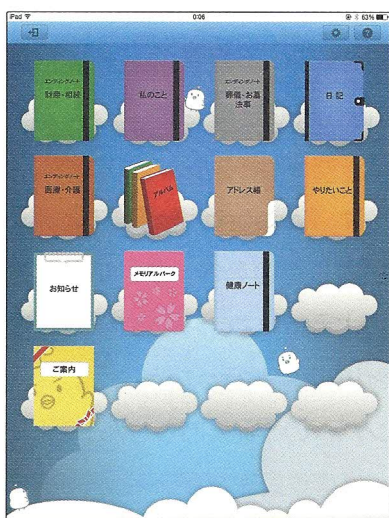
「補習」では、受講者が次々に藤澤さんに質問をぶつけ、熱気にあふれている。

に引っ越してきたが、FacebookのつながりでiClub福岡に加入した。宮本さんは「転職すると、それまでの関係が途切れてしまいますが、Facebookがあればつながっていられます。新しい土地でも友達の輪に溶け込みました」と、Facebookを実際の人間関係に生かしている。

このように、SNSとiPadを通じて、自分と周囲の人々を楽しませている藤澤さ

んは、SNSについて「家族や同窓生とのやりとりなど、自分がやりたいことから始めて、まず『好き』になってください。好きなものは苦にならず続けることができますから」と、語る。

「やめたいときにはすぐにやめられるのもSNSのいいところですので、怖がらずに気軽に始めて楽しみましょう」ともアドバイスしてくれた。



藤澤さんがプロデュースしている、iPad版終活ノートとでもいうべき【私ノート】アプリ。多機能ながら無料で利用できる。



「iClub福岡」のFacebookページ。活発な活動の様子がうかがえる。

